京城日報
朝刊
日本刊夕朝共六頁

常に我が荒鷲を勝利へ
武功拔群、上聞に達す

【寫眞＝中西地上整備中隊長】

【東京電話】敵機の爆撃下パレンバン飛行場の補修、飛行機の整備を完うし菅木、遠藤両飛行部隊の戰力發揮に遺憾なからしめた地上勤務部隊の精華中西地上整備中隊およびシンガポール島攻略に方り敵彈雨飛のもと高層氣象實況の放送に努め航空部隊の作戰指導を有利ならしめた栂谷内高層氣象班に對してはさきに同方面陸軍航空部隊最高指揮官よりそれぞれ感狀を授與されたが、今回畏くも上聞に達せられた旨廿八日陸軍省から發表された

陸軍省發表（九月二十八日午後四時）馬來、スマトラ方面の航空作戰を有利ならしめ武功拔群なる中西地上整備中隊ならびに栂谷内高層氣象班に對し曩に同方面陸軍航空部隊最高指揮官より感狀を授與せられしが今般畏くも上聞に達せられたり

航空部隊戰果の陰にこの辛酸
中西地上整備中隊・栂谷内高層氣象班に初の感狀

感狀 中西地上整備中隊

久米落下傘部隊の『パレンバン』飛行場占領に伴ひ菅木飛行部隊は先づ主力を以て敢然同飛行場に躍進して防空に任じ遠藤飛行部隊また續いて主力を以て同飛行場を根據として西部瓜哇の航空殲滅戰を開始せり

右中隊は中西大尉指揮の下に之と略々時を同じうして地上部隊先遣隊と共に二月十六日『パレンバン』に上陸し取敢ず揚陸し得たる僅少なる兵を以て直ちに行動を開始し、屢々來襲する敵機の爆撃下にありて凡百の手段を講じ飛行場の補修、飛行機の整備を完うし、僅少なる輸送機關を使用して燃料、彈藥等の輸送を促進し、以て活潑なる飛行部隊の活動に資し中隊全力を集結するに至るや益々その能率を發揮し、進んで廣汎なる補給、輸送、給養及び整備等の諸業務に邁進し晝日不眠不休、一中隊の僅少なる人員、器材をもつて両飛行部隊の戰力發揮に遺憾なからしめ『パレンバン』確保並に瓜哇航空殲滅の赫々たる戰果獲得の根基を爲せり

右は中隊長の陣頭指揮宜しきを得たると、將兵の崇高なる殉我協同の精神に基く積極果敢なる奮鬪努力の賜にして、實に地上勤務部隊の精華といふべくその武功拔群なり

仍て茲に感狀を授與す

昭和十七年三月十六日

馬來方面陸軍航空部隊最高指揮官

感狀 栂谷内高層氣象班

右は栂谷内中尉指揮の下に松井部隊第一線に同行して觀測業務に從事しつゝありしが、新嘉坡島の攻撃に方り目標附近の高層氣象實況の把握益々緊要となるや、二月三日歩兵第一線を超越して『ジヨホール』橋梁北方五百メートルの台上に突進し敵彈雨飛の下一意任務に邁進せり

二月十二日午前七時卅分敵の重砲彈は觀測所を破壞して死傷八名を生じ、次いで通信所亦粉碎せらるゝ等慘憺たる狀況の下、尚自若として觀測を續行し新嘉坡攻略の最高潮期における高層氣象實況の放送に努め、航空部隊の作戰指導を有利ならしめたり

右は班長の積極果敢なる指揮の下、班員の熾烈なる責任觀念と旺盛なる志氣とに依るものにして眞に氣象部隊の精華を發揚するものといふべくその武功拔群なり

仍て茲に感狀を授與す

昭和十七年三月十六日

馬來方面陸軍航空部隊最高指揮官

晝は補修、夜は輸送
不眠不休、整備の辛苦
【中西整備中隊】

中西中隊はムシ河々口から小舟艇に分乘、スマトラ上陸先遣部隊とともに二月十六日パレンバンに上陸、直ちに飛行場勤務を遂行、全力をもつて菅木、遠藤両飛行部隊の西部ジヤワ航空殲滅戰に協力した、當時現地にあつた自動車ガソリンスタンドの中には松脂らしい異物が混入しありしため飛行機の發動機に故障が生ずるので徹夜修理各飛行部隊の活動を可能ならしめたさらに燈火管制で眞闇の中を危險な障碍物を避けながら揚陸場と飛行場の間十五キロの破壞道路を燃料や彈藥輸送のため反復往復し、晝は飛行場の補修と文字通り不眠不休の活動を續けた、狹いパレ……

戰友の靈前に闘ふ
彈雨下、依然觀測作業
【栂谷内氣象班】

栂谷内高層氣象班配置要圖
昭和十七年二月十二日午前七時三十分ニ於ケル

ンバンの飛行場に數百機の飛行機が出動したり、歸還したりするので地上勤務隊の苦勞は非常な……

自ら米の番犬化
"大英帝國"すでに終焉

【東京電話】歐洲に、東亞に聯合國陣營の敗色掩ひ難く、英の焦慮苦惱は一方ならぬものがあるが、以下は最近歸朝したロンドン同盟特派員竹藤章藏氏に聽く英の實相である

英の對日空氣は次第に惡化していつたが、ミユンヘン會議ごろから支那事變が始まつてから歐洲の風雲急を告げるに至るや、英政府はルーズベルトとの對日強硬策に調子を合せつつも、いよいよ大戰となるや米國内の孤立派の勢力も相當侮り難いものがあり、ルーズベルト三選の見込みも明かでなかつたので日本に對し一層消極的な態度を取るやうになつた、越えて一九四〇年夏ごろまでこの態度がつゞき、ルーズベルトが同年七月事實上對日石油屑鐵禁輸を實施したに拘らず、チヤーチル内閣は帝國の要求を容れてビルマ公路の三ケ月閉鎖を受諾したほどであつた、しかるにこの三ケ月の期間内に日獨伊三國同盟の成立が發表されたので十月十五日英政府はビルマ公路の再開を聲明、次で十一月の選擧でルーズベルトが三選されて英政府の不安も一掃されここに英米両國の對日政策は完全に一つのものとなつた、殊に翌四十一年の三月米議會において武器貸與案が成立し英の對米依存關係が深まるに連れて英は萬事米に追隨せざるを得ない立場となつた、かゝる狀況であつたから、同年七月帝國と佛印との間に共同防衛協定が成立するや米と歩調を合せて資金凍結令を布き、通商協定を破棄するといふ對日挑戰的態度に出て帝國を……

英今日の苦境は全く自業自得といふべく、日英開戰當時チヤーチルは國民に向つて、『日本は敵となつたが、世界一の強大國米を味方に引入れたことは差引非常な利益だ』といつたが、大海軍國日本を敵に廻したことは英にとつてなんといつても致命的な打撃であつた、これはその後の戰況が雄辯に物語つてゐてすでに今日にいたつては敗戰國英は米の御注意のまゝに默視するほかなく英米は最早對等ではなくルーズベルトの鞄使に甘んずるメツセンジヤボイに過ぎなくなつた、世界一の大帝國を誇つた英國民の感慨如何である

……英の海外投資の六割はすでに消耗されたといはれるが、……してての英の存在はすでに終焉を告げたと斷言することが出來る

レ市を新攻撃

【ストツクホルム二十七日同盟】スターリングラード方面でフオン・レーデトメイク將軍麾下の獨軍が新攻撃を開始、またボロネジその他の方面でも獨軍の攻撃開始が報ぜられてゐる

米價は絶對に引上げず
農林次官言明

三笠宮殿下台臨
學習院高等科卒業式

獨歩兵部隊
ボルガ河畔に到達す

赤軍に餓死者續出す

先づ軍需工業へ
而して南方進出
賀屋藏相 佐藤軍務局長言明

社説 秋蠶繭不作の眞因

"滿洲開拓の夕"に出席するため朝鮮移住協會に招かれて廿八日午後一時十一分着列車で入城した滿洲開拓總局長五十子卷三氏は到着後直ちに朝鮮ホテルに入つたが、將南戰士として日夜滿洲の野に挺身する半島開拓民問題に就いて次のごとく語つた【寫眞＝語る五十子氏】

"王道の大地"を拓く半島戰士

六町歩の地主さん

米の多作には全く天才だ！

五十子局長 感謝の京城入り

朝鮮開拓民について先づ感謝することは米を澤山作つてくれることだ、水田を簡單に作ることについては半島人は全く天才だといへる、それらの人の勞働はいままで定着性がなかつたことだが、今度開拓農場法が出、半島人にも、準用することとなつたから農業經營の基礎といへる土地と家屋とを保護されその點今後大きな飛躍が見られるだらう

農場法は土地と家屋とを一括して農場とし、これを世襲的に永久に所有させる法で半島人には大體平均六町歩位の土位が與へられることとならう

分譲は耕作能力、自己資力、自己機械力などや地理的條件を加味して適正面積を決め、一戸三千五百円位の貸付金を與へて五年据置、廿年の年賦で償還さすこととなるが、これによつて土地への愛着も出來、從來沓を追つて移動してゐた半島農民はここに全く安全に、自作農として更生することが出來る譯だ

[illegible]ものが多いので學校など教育施設[illegible]

狂暴モロ族も協力

ミンダナオ建設陣に凱歌

【ダバオ特電】（廿七日發）[illegible]皇軍が昨年十二月末この地に上り必死の限りを盡してゐた[illegible]我軍政當局ではこのモロ族の宣撫工作完遂こそミンダナオ建設の成[illegible]見地から警備隊を[illegible]手を伸ばしてゐた[illegible]教育などにはとん[illegible]、その困難さに手[illegible]ところが彼等が回教[illegible]してゐる點に目を[illegible]その宗教工作に中[illegible]心を碎いたところ、依然掌を返すやうにぞく〜皇軍への協力を申出て來た、最近では今まで絶對にモロ族が姿を現はしたこともないといふダバオ市内にも續々とその姿を見せシャベルや鍬を揃つて建設工作に從事してゐる風景が到るところに見受けられ、一方地方の山田地帶などでも架橋、道路工事や得意の道案内などに皇軍に協力してゐるほゝ笑ましい姿があり、ミンダナオ數百年の歴史に嘗てなかつた風景といはれる

四日に晴の町葬

小野伍長悲しき凱旋

[illegible]の前哨戰に護國の華と散つた前京畿中學教諭小野久茂[illegible]東四軒町四八一の[illegible]一日午後三時廿七[illegible]陸"で償しのわが[illegible]するが、葬儀は東[illegible]より高野山別院で[illegible]ら同町々葬に附す[illegible]和十二年城大國文科卒、直ちに京城第一高女教諭を奉職、十三年秋晴れの應召を受け、北支方面に活躍の後留還、武勳により勳八等に敘せられ十六年八月京畿中學校に奉職半島青年の薫育に當つてゐたが同年秋再び應召今次大戰の詔書渙發せらるゝや直ちに怒濤の進撃を開始したが、惜くも南方戰の戰線に護國の華と散つたものである　なほ留守宅には小枝子未亡人（三一）のほか四人の弟妹がある【寫眞＝故小野伍長】

[illegible]會議で金光委員長を初め三百五十餘名の會員集合、來賓多數臨席の上創立總會を舉行
國民儀禮ののち臨時座長選舉、議長山木秀雄さんが經過報告、議長の挨拶に續いて厚生局長代理、京畿道知事代理の來賓祝辭、萬歲三唱に銃後御奉公を誓つて四時散會した

釜山府會へ百萬圓を寄附

迫間家から

【釜山電話】迫間房太郎氏逝いて廿六日五七忌日を終つた迫間家では嚢に敍位の恩典に浴し來た盛大な府葬を初め各方面から受けた數々の光榮に應へるため稼て繙が生前の意志を果すべく嗣子一男氏が廿八日午前十一時支配人金東準氏を帶同して釜山府廳に山下府尹を訪ね、府葬執行に對する謝辭を述べ、次いで亡父の遺志により時價八十萬円以上の土地山林と、二十萬円の現金とを府の財産又は諸般の施設費に龍頭山神社御造營費、教育、社會、救護、警防、軍人援護、總力運動その他各方面の事業に充當せられたいと申出た

銃後の護り！警防團

來月一日、晴の表彰式

財團法人朝鮮警防協會では警防團結成記念日たる十一月一日を期し成績優良なる警防團及び團員の表彰を行ふことになつたが、今回表彰されるものは表彰旗を授與される警防團十九團體、功勞章を授與される警防團員七名、褒勤章を授與されるもの十二名、表彰品授與者一名、感狀授與者三百卅五名となつてをり、當日警防協會總裁田中政務總監から功績狀に添へ表彰旗、又は表彰狀を各道聯合支部を通じて授與されることになつてゐる

薫らん"警防の靈魂"

故大阪分團長の署葬

警防精神の 典範を 發揮し消火作業中殉職した京城本町警防團大阪政三郎分團長の署をおくる警防團葬は廿八日午後四時半から南大門國民學校々庭で佛式により執行された、祭壇の左右は故人の殉職をいたむ美しい供華にぎつしりと正面祭壇には黑リボンに飾られた故人の遺影と位牌が安置され、香煙縷々とゆらぐ靈前には數々の供物が供へられ、式場一ぱいにながれる興まり、秋風にのつて芳香が祭壇に向つて左側には丹下警務局長、高京畿道知事、古市京城府尹をはじめ府内各警察署長、向つて右側遺族席には八重未亡人の合掌姿が胸をうつ
導師の 表白文について 新田本町警防團長、正岡本町警察署長、高京畿道知事、丹下朝鮮警防協會長、古市京城府尹の弔辭の外六團體から弔辭が寄せられ、新田葬儀委員長の挨拶を終つてしめやかな讀經の聲とともに香煙ゆらぐ靈前に進み最後の訣別を告げる燒香がはじめられ同六時半しめやかななかにも淫しい警防の息吹をあびた警防團葬は終了した【寫眞＝大阪分團長の警防團葬】

"搖ぎなき北邊前線"

徳川公滿蒙から寄城

日本赤十字社長徳川圀順公は久我日赤救護部長らを帶同、滿洲建國十周年祝典に參列の歸途廿八日午後零時五十五分京城驛着『あかつき』で寄城、朝鮮ホテルに入つたが四年ぶりに見た新興滿洲國及び蒙疆等北邊の友邦の躍進ぶりについて次のやうに語つた
滿洲もよくなつたね、今更皇恩の有難さに感泣した次第だ、祝典は正しく曠古の盛儀であつた、親邦日本の友情の偉いなるをはつきりと感得してゐる、滿洲の各都市には全く清新の氣がみなぎり滿人たちは從來の憂色は全く消え生き〜してゐる、北京を經て蒙疆の張家口まで行つたが私は蒙古氣分を味はへると思つたらどうして張家口は立派な近代都市、こゝから約一日行程を奥へ進まねば蒙古氣分は味はへないといふので大笑したものだ、現地の軍を慰問、陸軍病院に白衣勇士をも慰問したが、わが北邊の守りは鐵石の陣である、皇軍の姿には感激のほかはなかつた、もう安東から朝鮮に入ると山が青々と茂り全く内地に歸つたやうなものだ、それだけ朝鮮が皇土として、こゝ數年間見違へるやうに躍進したわけだなほ徳川公は廿八日午後三時小磯總督を訪問、同六時半から官邸の晩餐に臨み、廿九日は在城赤城職人會に出席、卅日は日赤朝鮮本部主催鮮内赤十字主事會議に列席、十月一日午後二時四十分發『あかつき』で退城する【寫眞＝寄城の徳川公】

感心な兵隊さん

火事場で消防のお手傳

去る廿五日午後五時ごろ大和町二丁目十七番地洗濯業西野萬士口方の火災に際し偶々附近通行中の一軍人が現場に駆付け愛國號用ポンプの筒先を執つて電柱に攀登り火煙に煽られながらも身の危險を顧みず全身ズブ濡れとなつて放水、消防隊と協力して火災を最小限度に喰止めた勇敢なる行爲が警防團員はじめ目撃者の感歎を買つてゐるが、京城消防署で調査の結果右軍人は〇〇部隊木村茂上等兵と判明した
これに對し京畿道警察部では直ちに木村上等兵へ禮狀を送ると共に表彰を行ふことになつた

青年校出に進路

候補生受驗資格附與の準備

【東京電話】青年學校卒業生に幹部候補生の受驗資格を附興する件につき目下軍當局と折衝中であり文部當局としては極力その實現を期してゐる旨左のごとく言明注目を惹いた
青年學校卒業生に幹部候補生の受驗資格を附與することについては文部省としては極力その實現を期し目下軍當局と相當具體的な折衝をつゞけてゐる、獨立校舍、專任教員などの設置も同感で努力次第義務制の即時斷行はなほ研究の餘地もあるが、近い將來にその實現を期してゐる

譽の妻に醫術

第六委員會 赤木氏から具體案

【東京電話】中央協力會議も第三日、廿八日の第六委員會（厚生、科學、文化）の地方代表赤木元藏氏（岡山縣）は銃下の喫緊問題を綜合しての農山漁村における健民對策を次のやうに述べ深い感銘を興へた
農山、漁村、鑛山勞働力の倍加につれて最少限に現有勢力を確保するためには醫療施設の完備が喫緊の急務である、地方民は皇軍の大戰果に感激して前線の兵隊さんに心配させぬためと骨を削り肉を削り減らして病氣を押しても増産に涙ぐましい努力をつゞけてゐるが、これら増産の戰士たちを斃れさせてはならない、戰線に世界無比の軍陣醫學があれば増産戰線にも是非これを取入れてほしい
次いで赤木さんはその對策として次のやうな大いに示唆に富む具體案を披瀝した
しかし戰線の隅々にもまだ不足してゐる醫療を銃後に引き戻すわけには行かぬ、銃後は銃後だけで完璧に護り終らせなくてはならぬ、そのためには私の經驗によつても敗入あるやうに全國を調査したら戰歿勇士の未亡人のなかに醫學者が澤山をられるはずである、現に資格をもつてゐる方でなくても軍事保護院邊りで女醫を養成する醫學校を新たに設けて養成される段になればまだ〜く出來ると思ふ、その養成所を卒業された譽れの婦人方を農山、漁村、鑛山に配置したらどんなものか、また現に保護院でやつてゐる全國の傷痍軍人療養所に入所して再起奉公を誓ひ熱心に療養してをられる在郷勇士たちの貴重な療養體驗を活かして特別な資格を與へ療養を兼ねた指導を農山、漁村、鑛山に浸潤さしてはどうか、感謝と感激の交流によつてなされる健民對策が一番力強くまた實績もあがるのではないだらうか

既存建築物を住宅に轉用

嬉しい言明

【東京電話】厚生省職昂生活局長は廿八日の協力會議第五部會において總動員法を發動して既存建築物を住宅に轉用する方法を目下研究中である旨言明した、即ち政府は支那事變勃發以來の深刻な住宅難を緩和すべく既に昨十六年五月住宅營團を設置してこれが開發をはかりつゝあるが
現下の資材ならびに勞力の不足は營團のみの活動によつては當面する重工業勞務者用住宅の提供にも極端な不足を來してをりこれが打開策としては大都市におけるデパート、不急不用家屋など既存建築物を重點的に勞務者住宅に轉用する以外には方法はない、既に今春二月厚生省では重要事業場勞務者管理令を公布實施し、また緊急を要する計畫造船の實施に當つては去る七月『計畫造船勞務對策要綱』を決定し、それぞれ勞務者住宅の緊急策を決定、極力現狀の打開をはかり既存のアパート、デパート、病院、寺院、空家などの使用の途を講じてゐる
しかるに住宅不足の現狀は依然困難を極め、なんらかの對策が要望されてゐたので、遂に總動員法の發動によつてこれが解決をみるものと豫想されてゐた際とて職昂生活局長の右言明は頗る注目される

新生する昭南の親島

【昭南親島（舊名ブラカンマチ島）にて廿七日同盟特派員發】シンガポール攻略戰にドラム罐ほどの砲彈をふらせてわが軍を惱ましたブラカンマチ要塞島は今は敵性を排拭して名も親島と改め更生復興の途を歩んでゐる、以下はブラカンマチ島更生の姿である【寫眞＝昭南に嚴然！我勇士＝海軍省許可濟五七一號】

鮮かに『コンニチワ』

親子で日本語勉強

俘虜も朗か行進譜

◇板についた敬禮
東のチャンギーとともに西のブラカンマチ島はシンガポールの東西双璧をなす要塞だつた、この島は東西四キロ、南北七百メートルの細長いしかも起伏が多く平地といふものは殆どない鉛たる島である、しかし島を一巡すると戰前英國がこの島に如何に莫大な金を投じてその要塞に腐心したかゞ窺はれる
海上からでは樹木に遮られてよく判らないが、綺麗に舗裝された道路は樹を縫つて縱横に走り、建物が建つてゐる、附近で聞いてゐる所、貯水池、揚水場等の諸設備が完備してゐる、小さな定期船でも一五分も走ると對島の樹織に着く、衞兵所にはターバンを捲いた印度兵がゐる、『敬禮』に次いで『休め！』の號令のあざやかさには驚かされた『この島の朝はまづ俘虜の行進に明けます』と案内してくれた將校はこの島のことをもの靜かに話し始めた、名も知らない眞赤な花、鮮々しい葉、れの花の群の向うに三階建の堂々たる建物が建つてゐる
◇朗かな俘虜たち
半裸の英人俘虜がわれ〜を見つけて『敬禮』と叫んだ
昭南、マレー復興は大部分俘虜がやつてゐると誰かがいつてゐたさうですが、さかそれ程でもないでせう、しかし彼等は支那兵の俘虜と違つてなか〜働き者だし、十數萬といふ數は勞働力の上からいつて大きな役割を果してゐるのは事實でせう、彼等は實に朗らかです、口笛を吹きながら與へられた仕事を向す、彼等は朝八時半になると係りのわが兵隊に引率されて行進を始めます、その光景は壯觀といひませうか、とにかくみものです、また彼等には彼等なりの自治を與へてゐますから申分ないわけです
〇〇部隊本部の階上で涼を入れてゐると、椰子の葉末を渡つて來る風に乘つて『白地に赤く』のピアノの音が聞えて來た、耳を澄けてゐると鄕愁に似たものをおぼえる
◇親子で日本語稽古
あれはうちの部隊でやつてゐる日語學校です、原住民の日本語熱は非常なもので、何んとかして子供達を教育して貰ひたいと言ふ親達の熱心さに動かされて部隊で學校を開いてゐます、從來この島には住民の學校がなかつたので今では大變な喜び方です、近頃では子供達が日に見えて日本語を覺えて行くのにたまらなくなつたと見えて『私達にもどうぞ』と代表者が申出たほとです、そこで夜間教授を始めましたが子供達と違つて悠が手傳ふものか、とても熱心です
作業に出掛つた後の兵舍はひつそり靜まりかへつてゐる、さやくと鳴る椰子の葉ずれと小鳥の囀りを聞きながら幾つかの坂を越すと小高い丘の上に日語學校がある、『コレハホンデス、ニツポンノホンデス』と生々とした聲が聞えて來る、校舍に入ると突然十二歲位を頭に五十人位の生徒から『コンニチワー』の一齊射撃を受けて吃驚した、先生の永井軍曹は
先日生徒から日本の話をしてくれとせがまれましたので猿蟹合戰の話をしました、ところがこの子供達は柿や栗を知らない、何と說明したものかと考へた末柿はマンゴスチン、栗は卵とそれぞれ置きかへて話しました、卵ははぜると聞いてゐますが見たわけではなし、話したあとでとても心配になりましたよ
こんな小さなことにまで氣を配つてゐるのかと感心させられた
◇凝視する警戒兵
爪先上りで、およそ〇百米、雜木林に蔽はれた路を登りつめると廣々とした台地に出た、この高地からドラム罐程もある大きな砲彈をぶつ放したのだ
足もとは一面ペトンで固められてある、昭南の街は眼下に幡たはつて手を伸ばせば屆きさうだ、激戰の地武威山、チヤンギ、筑紫山も手にとるやうに見え、昭南島を抱きかゝへるやうな恰好だ、これでは狙ひ撃ちも同然である、敵の大砲は降伏直前彼等自身で爆破したのだといふ、巨大な砲身がぶざまにつんのめつてゐる、わが常備戰艦を抱いて壯烈な自爆をして殿しく撃したといふめちや〜になつた砲台もあつた、警戒兵はぢつと彼方の海を凝視し續けてゐる、南の太陽は刺すやうに強い

京畿道醫生會

晴れの發足

京畿道醫生會では廿八日午後二時半から鍾路二丁目中央基督教青年會で[illegible]

話題特急

☆……大戰勃發以來獨空軍のなかで現在までに最も多數の敵機を擊墜してゐるのは百四十三機擊墜の驚異的記錄を有するゴロブ少佐で、同少佐はウイーン生れ、本年卅歲
☆……前の戰において聯合國大、獨墺側を通じて最高の敵機擊墜の記錄保持者として歷史的人物とまでなつた彼のリヒトホーフエンでさへ漸く八十機を血祭りにしたに過ぎない
☆……ゴロブ少佐に次ぐ第二の記錄保持者はヘルマン・グラーフ中尉で、今までに百卅三機を擊墜した、なほ百機以上の敵機擊墜記錄を持つ獨空軍の花形戰士は前記の二勇士を含めて十四名に上つてゐる（ベルリン發）

夕刊 京城日報

精鋭一齊に行動開始 早くも敵主力を包圍

魯西地區に新作戰 共産軍五千を捕捉

【山東省西部○○前線二十七日同盟】わが軍は山東省西部舊黄河畔一帶に蟠居蠢動を續ける魯西地區共産軍第百十五師教導第二旅長柳勇麾下その他五千の共産軍を殲滅するため、九月二十七日拂曉一齊に行動を開始した、すなはち大島、曳地、田中、平島、小松の諸部隊は鐵牛部隊と呼應東南方より、國井、坪井、津田、田添、井澤、梅澤の諸部隊は北方よりまた山田、大泉、櫻井の諸部隊および○○鐵牛部隊は西方よりいづれも一齊に行動を起したが、早くも敵主力の包圍鐵環を完成着々戰果を收めてゐる

佛、マ島戰況發表

【ビシー廿六日同盟】ビシー政府はマダガスカル島戰況に關し廿六日次の如く發表した
イギリス軍は二十三日首都タナナリボを占領した後首都南方四〇キロのベハンジエに進出、同地點においてフランス軍と交戰中である

ス市既に陷落同樣

獨軍作戰目標を達成

【ベルリン廿六日同盟】獨軍がドン河を突破しスターリングラードに進撃した目的はボルガとドンの目標の要衝を押へてコーカサスに進出する赤軍の連絡を確保するにあつたわけだが、獨軍はすでに赤軍の南下を支へる態勢を完成したので、その作戰目標は實質的にはすでに完成したものである、從つてヒトラー總統はスターリングラードの陷落そのものは第二義的な意義をもつに過ぎないとして、ワルソー攻撃の時と同樣にス市攻略部隊に對し時間をかけても極力人命の犠牲を避けるやう命令してゐるため、陷落は多少延びてゐるわけである、廿五日より公開されたドイツニュース映畫によると獨軍はス市の中央部に突入して陣地を擴大し獨急降下爆撃機は縱橫無盡に軍事施設に對し爆撃を加へてをり、實質的には陷落と同樣な狀態にあるとの印象をうける
次に二十四日の獨軍發表で獨軍は中部戰線において積極的攻勢を行つてゐると發表されたが、獨軍當局の言明によると今のところでは全面的進撃開始を意味するものではなく戰線整理的な局地的攻勢作戰に過ぎない、またチェヨク戰線では困難な山地を踏み分け、一日に數キロ乃至十數キロづつ前進し着々山岳地帶の確保に努めてゐる、他方赤軍はボロネジ、ルジョフの兩地區で攻撃を繰返してゐるが、大勢に變化なく南部戰線を除き今のところ陣地は膠着の形を見せてゐる

殘存赤軍日に弱る

【ベルリン廿六日同盟】スターリングラードはボルガ河畔に沿ひ卅五キロ乃至四十キロにわたる細長い街だが、その北、中、南部の三ケ所から市街を突破してボルガ河畔まで突抜け市街防衛の赤軍を相互にきり離し完全な孤立の狀態に陷れてしまつた、スターリングラードはボルガ西岸に沿ひ卅五キロ乃至四十キロにわたる細長い街だが、その端は五キロの狹いものだから各部隊も一氣にボルガ河に突抜け長い帶を寸斷した譯である、市街は破壊されたその（？）のため戰車は全然使へず工兵は（？）の殘骸を制しつゝ肉彈突破を敢行しなければならない、そのうへに赤軍は市中數ケ所に建てられたソ聯獨得の巨大な政府、黨赤軍關係の建物を要塞化してゐるので、これが徹底的攻略はなかなか容易でない、しかし最も頑強な抵抗を示した共産黨の建物もすでに獨軍の奪取するところとなり、ことに市街南部は殆ど完全に獨軍の手中に歸し目下所々に殘る赤軍の抵抗を掃蕩してゐる
張つてゐる殘存赤軍の掃蕩が順調に進んでゐる、赤軍は少しでも陷落を永びかせようとボルガ河東岸から隙に乘じて救援の手をのべるなど必死の努力をしてをり、とくにドン河彎曲部から同市北方のボルガ河岸に至る赤軍の強固な陣地に拠つては數日にわたり強力な突破反撃に出てゐる、しかし一兩日來その勢が目立つて弱くなつて來てゐると獨軍當局は言明してゐる

【ベルリン二十七日同盟】ドイツ軍司令部二十七日發表
一、コーカサス北西部およびテリヨク戰線のドイツ軍は頑強な赤軍の抵抗を擊摧して堅固な陣地より撤退せしめ特にテリヨク戰線では赤軍の攻撃を撃退し赤軍二個大隊を殲滅し捕虜數百名を得た
一、ドイツ空軍はまたくツアプゼ軍港に對し猛爆を加へた
一、スターリングラード市中央部ではドイツ歩兵部隊は赤軍陣地數ケ所を占領、空軍掩護のもとに數地點においてボルガ河に到達した

（電送）＝支那方面艦隊報道部提供 海軍省許可濟第五七一號

敵基地爆碎に向ふ海軍攻撃機

飛躍滿洲國の新陣容

各部大臣更迭す

外交部大臣に李駐日大使起用

【新京二十八日同盟】滿洲國政府は建國十周年を機とし第二次建設の推進態勢を確立するため各部大臣を中心とする特任級人事の廣範圍異動を斷行、人心の一新を期すべく張總理の手許において慎重人選を進めた結果このほど成案を得たので二十八日午前八時左の如く發表した

官職	前職	氏名
特任治安部大臣	第一軍管區司令官陸軍上將	邢士廉
特任民生部大臣	興農部大臣	于靜遠
特任外交部大臣	特命全權大使 日本國駐在	李紹庚
	吉林省長	閻傳紱
特任司法部大臣	龍江省長	黄富俊
特任興農部大臣	交通部大臣	阮振鐸
特任經濟部大臣	民生部大臣	谷次亨
特任交通部大臣	司法部大臣	張煥相
	經濟部大臣	蔡運升
	外交部大臣	韋煥章
	安東省長	丁超

特任參議（各通）

各省長異動

【新京二十八日同盟】各部大臣異動に伴ふ人事は同じく二十八日左の如く發表された

特任奉天省長 郵政總局長 徐紹卿
新京特別市長 金名世
特任吉林省長 興安北省長 額爾欽巴圖
特任興安北省長 同 孫其昌
參議 榮厚
同 丁鑑修
同 于琛澂
治安部大臣 孫其昌
奉天省長 金榮桂
依願免本官（各通）
陸軍上將 于琛澂
將軍の稱號を特授せらる
勳一位 榮厚
特に前官の禮遇を賜ふ
勳一位 金榮桂
宮内府顧問官（特任待遇仰付けらる）
陸軍訓練學校長 陸軍中將 王之佑
特派充第一軍管區司令官
禁煙總局長 張聯文
任新京特別市長（敍簡任一等）
奉天省民生廳長 申振先
任龍江省長、敍簡任一等
地政總局長 曹承宗
任安東省長、敍簡任一等
總領事（上海）王（？）
任郵政總局長、敍簡任一等
哈爾濱稅務監督署長 楊乃時
地政總局長、敍簡任一等
交通部都邑計畫司長 沿培恩
任禁煙總局長、敍簡任一等
審計官（審計局第二處長）（？）蒙公
任總領事（上海）敍簡任二等
總務廳參事官 薛永廸
任審計官、敍簡任二等派充審計局第二處長
濱江省開拓廳長 奎正儒
任奉天省林政廳長、敍簡任二等
省參事官（吉林省）王紹先
任濱江省開拓廳長
錦州稅務監督署長 馬錫嗣
任哈爾濱稅務監督署長
交通部次長 飯野毅夫
命交通部都邑計畫司長事務取扱

新進の人材を簡拔

庶政の更始一新期す

張總理談

【新京廿八日同盟】建國十周年の佳年に際し大東亞戰の必勝、大東亞共榮圏建設の完成、北邊防衛の完璧などわが國の遂行すべき使命と發展とは歩一歩重かつ大を加へ來つた、今や建國精神の本體をいよく宣揚し物心兩面にわたり國家の飛躍的發展伸張をはかるべき重大時期に際會してゐるのである、よつてこの際新進の人材を簡拔し適材を適所に配置しそれぐ〜實任の衝に當らしめもつて官心を刷新し庶政の更始一新を期待した次第である

國府は全幅的支持

【南京二十八日同盟】滿洲國政府今回の各部大臣異動斷行に關し國民政府當局ではさきに日滿華三國共同宣言につき汪主席の談話、さらに褚國務總理の宣言訪滿以來滿洲國のあらゆる政治運動に對し深甚な注目と關心を寄せてゐた矢先として少からぬ感銘をうけるとともに全幅的支持の態度を示して

泰政府も注目

【バンコック廿八日同盟】滿洲國政府が各部大臣異動を斷行、就中外交部大臣に駐日大使李紹庚氏を起用したことに關し泰國官邊は大東亞戰下日滿兩國の緊密關係がそれによつてさらに一段と促進せらるゐる、すなはち今回の大異動斷行により滿洲國は内に人事刷新と北方防衛態勢を強化するとともに外に對しては日本をはじめ盟邦諸國との親善關係をより緊密ならしめるものであり、中國に對してはこれに伴ふ今後の飛躍的進展が直接間接に大なる政治的示唆を與へるとともに日滿華三國の紐帶はこれにより一段と強化されることとなるべく中國としては第二期建設に對する滿洲國の決意を慎重同世同苦の精神にもとづき個々へて協力邁進すべきものとしてゐる
れ、南方に呼應する北方の護りとこれが建設はいよく強化されるものとして歡迎、特に滿洲國政府が第二期建設に飛躍せんとするに當つてこのやうに思ひ切つた大異動を斷行したことは注目すべきであるとしてゐる

優秀な青少年を多數内地から移入

朴勞務課長歸任談

【釜山電話】國民總動員關係につき打合せのため東上中であつた林本府勞務課長は一ケ月振りで廿八日特急『あかつき』で歸任したが、概要次の如く語つた
勞務動員計畫の内容は話せぬが大體順調に進んだ、本年度卒業生の技術以外の中、商業、國民學校出の内地の優秀な青少年を相當多數朝鮮へ移入しこれを本府當局において官廳、民間の會社、工場、軍需産業方面の需要に配當することになつたが、内地でも從來と違つて最近は朝鮮に對する認識も改まり進んで朝鮮へ進出するといふ傾向が濃厚になつてゐる

中央協力會議各部會開く

細心、民の聲を聽く

首相ら早朝から出席

【東京電話】第三回中央協力會議は二十六、七の兩日における總會において東條首相以下全閣僚、企畫院總裁、情報局次長の發言により決戰下政府の根本政策が闡明されるとともに全國各地各界を代表する二百二十名の議員代表の論策說明により國民の戰爭遂行意力が端的に表明され大戰を必勝に推進を必成に推進すべき上意下情がこの一堂に凝固し國民總常會の眞價を具現したが、二十八日の第三日はいよく午前八時から第一部會より第六部會の各部會が一齊に開催され

第一部 思想戰強化に關する事項
第二部 戰時國民動員に關する事項
第三部 生産擴充に關する事項
第四部 戰時食糧增産に關する事項
第五部 戰爭生活に關する事項
第六部 民族力增強に關する事項

の細目にわたり議員二百廿名がそれぐ〜の部會、懇談に基礎を置く百七十件の議案の審議に入つた、東條首相兼翼賛會總裁はこの日も午前七時半早くも來場、八時開會の各部會にそれぐ〜出席、細心民の聲を聽くの態度を明示する、各部會においては會議員が各省、翼賛會本部と三者鼎を交へて長期戰に勝拔くための總常會組織が進められる、今日の部會審議の中心は二日にわたる總會において審議未了の問題を取りあげてゐるが、各部會を通觀するにこの重點は第三乃至第五部會にかゝつてをり、井野農相の如きは開會劈頭より第四部會に出席熱心に審議に聽き入つた、各部會とも如何にして生産力を增強し食糧對策を遂行し最低國民生活を確保するかに對し積極的な建設的の意見が開陳され、政府の政策を民の力によつて充填せんとする決意と方策が展開され小氣味よくも國民總常會の新使命を發揮した

議場雜觀

◇……未曾有の大戰爭をあくまで戰ひ拔くための一億家族會議は廿八日第三日目を迎へ、昨日までの繁雜な會議室の總常會がけふは六つの委員會に分れた地味な下情上通、上意下達の交流を文字通り膝を交へて續けるのだ、總常會より一時間早い午前八時開會であるにもかゝはらず、各代表は申合せたやうに書類の包みを小脇にかゝへて續々つめかけ定められた椅子につく、思想戰問題を協議する第一委員會は國民組織の第二、國民生活の第五、厚生、科學文化の第六委員會は三階に陣取り、生産擴充の第三、食糧對策の第四委員會は四階にそれぐ〜小室に割當られたが
◇……この朝七時五十分には豫定のなかつた東條さんがひよつこり會議場に現はれ、會がはじまると同時に第二委員會の總裁席にどつかと腰を据ゑて、各代表の議題說明を約一時間にわたり熱心に聽いて歸つた、しんみりと本當の下情と上意が委員會の討議に組合ふ樣は協力會議がはじまつて以來全く異例である、總裁の委員會出席は各代表に頼母しい感銘を抱かせた、大臣で午前中出たのは東條さんと食糧增産を協議する第四委員會に出た井野農相だけで、井野さんは入つて來ると親心の方針を述べその後に立つて熱辯をふるふ加藤完治氏の『國民道場を整備せよ』に耳を傾け大きくうなづいてゐた、總會と違つて一委員會は三名前後の代表なのでマイクもないが、それだけに心の底から訴へる聲が小さい會場を大きくゆさぶつてゐる、原則として總會で發言した人は後廻しにして一人約十五分、それに緊急な發議があれば委員長の指名でどしく發言が出來るから、あくまで掘り下げた『戰ふ銃後の意思』が上通されるわけだ、名議長ぶりを謳はれた安藤さんもけふは本部側擔當者の一人として、第六委員會に出席、末木元國氏（岡山）の健民運動論を聽いて時々傍らの厚生委員長に耳打ちしてゐたのは委員會運營の秘策でもあらう
◇……湯茶とお菓子、時たま紅茶が出る程度で昼食の前に運ばれて、第五委員會では緊張の中で婦人代表部（？）、村岡花子、山高しげり女史が主として婦人の衣料切符制の制定について熱心な論議をして注目を惹いてゐた、お晝の休憩まで四時間、午後一時から五時過ぎまでたつぷり八時間餘の時間も寧ろ短か過ぎる位に銃後代表の熱意は議題討議に驅け込み山積する議案は六つの室で次から次へと整理されて午後の部に移つて行く

“興亞祭”を檢討

第一部會

【東京電話】十二月八日の大詔奉戴日を興亞祭として國定すべしとの提案は廿六日の協力會議總會に上程され、下中彌三郎氏（各界）からその趣旨を說明、安藤議長もこれにつきさらに委員會における研究を要望したが、廿八日の協力會議第一委員會で再び下中議員の提案に對し飯沼神祇院副總裁および佐藤情報局第一部長は左の如く答辯した

飯沼神祇院副總裁

興亞祭については御趣旨は全く同感で、なんらかの方法でこれを實現したいと考へてゐる

佐藤情報局第一部長

興亞祭設定の趣旨は誠に結構で情報局としてもこの計畫を有し各省と具體案を練りつゝある、十二月八日を中心に前後一週間位は内地は勿論、外地にも盛大にしたい、しかしこれを興亞日と一定することは私一個の考へでは好ましくないと考へる、戰爭遂行の日をお祭りとするこ（？）に戰爭が既に終つたかの感を與へ、惡影響を與へる懼れがあると考へる

賃金統制令近く改正

持永勞働局長言明

【東京電話】廿八日の中央協力會議第三委員會において各委員から賃金統制の改正が要望されたが右に對し持永厚生省勞働局長は左の如く答辯した
一、現行賃金統制令は低物價政策に即應してゐる
一、しかし現行賃金統制令は必らずしも完全なものとは思はぬ近く初給賃金を中心に改正を加へる方針であるからその際産業界の意向も參酌したい
一、日傭勞務者の賃金統制は全く困難な實情にあるが近く日傭勞働者の團體を結成せしめその時局認識を徹底させる方針である

目標は皇國農村確立

井野農相方針闡明

【東京電話】廿八日の協力會議第四委員會午前中の審議事項は主として戰時食糧增産の見地から國民道の問題について論議されたが、これに關し井野農相から次の如く戰時國家要請としての食糧增産と農産物價に對する政府の方針を明にした
自由經濟時代においては農産といへども利潤を對象として生産されて來た、しかし戰時下のいまは國家はこれに對しある程度の利潤觀念無視を要請するかも知れない、多少の利潤に缺くるところがあつても食糧增産を遂行して貰ひたいのである、しかし政府としてもこれに對して考慮する積りであるが、價格引上は經濟のゆるす限りにおいて考へる、增産を條件としての價格は愼んで貰ひたい、低物價政策は今日農民に十分滿足を與へないかも知れぬが、今日の事態に鑑みてある程度これをしのんで貰ひたい、政府としては今後皇國農村確立といふ一定目標を定めて經營の合理化、適正規模の設定、農村の計畫につき最善の努力をする方針である

佛政府國務長官辭任す

【ビシー二十七日同盟】ビシー政府主席附國務長官シヤク・ブノア・メシヤン氏はラバール內閣における知日派の随一と見られた人であるが最近ラバール首相と所見を異にしたため辭職するに至つたものと見られる

時の錄音

×
反對に、それは泣き面に蜂と英米陣營戰々兢々たり。
×
國民常會愈よ眞摯白熱化して國民總力の結果をこゝに見る。
×
下情上通、上意下達はこの際一層徹底されねばなるまい。
×
政府も民の聲を聽け、國民また政府の施策に協力せよ。
×
陣頭第一線に勇戰奮闘中、聯井中將部隊戰績に感謝す。
×
この鋭き部隊長の遺勲を継へて、我が中支軍は更に進む。
×
目指すは重慶の潰滅だ。

人

◇德川國順公 廿八日〃大陸〃で入城朝鮮ホテル
◇大隈信常侯（日本文明協會長）廿八日〃のぞみ〃で入城朝鮮ホテル
◇六角宇太郎氏（同監事）同上
◇神田正雄氏（同）同上

鼻の惡い人は ―必ず頭が惡い―

◉手輕に治したい方へ 無代進呈

鼻が詰る人、年中鼻汁が出る人、頭が重く人、頭が常に重く記憶力の衰へる人、物の香ひの判らぬ人、不眠症の人、物忘れ激しく物忘れの甚だしい人、蓄膿症、肥厚性鼻炎等鼻の病でお困りの方は當ドクトル新療法の…を御一讀下さい。鼻病の治療にはどんな療法が一番よいか、鼻病の見分け方治し方、簡易明快の療法等が詳細に說かれてあります。希望者は「京城日報」で見たと記入しへかきで京城府本町四丁目ミナト藥局京城出張所へ御申込下さい。無代進呈致します。